

Kandai Style

2023.7 Vol.509

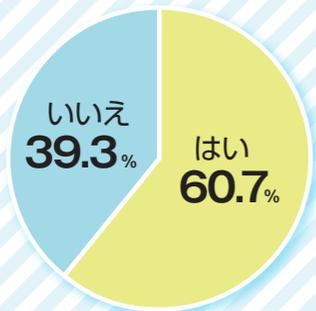
関西大学通信

関大生の夏休み

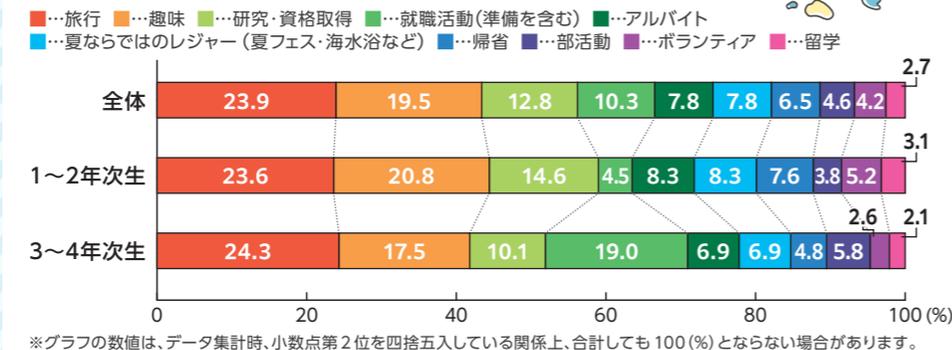
関大生の夏休み



Q1 夏休みの計画を立てていますか



Q2 夏休みにやりたいことは何ですか (複数回答可)



本学の夏休みは8月上旬から9月中旬までの約1カ月半。大学では夏休み中に課題が出されることがあまりないことも影響してか、60.7%の学生がすでに夏休みの計画を立てていました。

Q2で、夏休み中にやりたいことを聞くと、全体では「旅行」「趣味」が多く、次いで「研究・資格取得」「就職活動(準備を含む)」の順番でした。年次別に見ると、1~2年次生は「趣味」に時間を使いつつ、上位年次を見据え、「研究・資格取得」にも取り組む予定をしており、3~4年次生はまさに就職活動を意識した夏休みを予定している事が見えてきました。

ブラックエプロン取得を目指して

大学生になって初めての夏休みは、「ブラックエプロン認定試験合格のための勉強」と「インターンシップ」に力を注ぎたいと思います。

ブラックエプロンとは、専門知識を豊富に持ったコーヒーマスターの証となるものです。合格率は約10%という狭き門ですが、アルバイト先のコーヒーショップで、臨機応変に対応している先輩方の姿を見て意識が高まり、挑戦することに決めました。年に一度、開催される試験に向けて、この夏休みは専門知識をさらに深めるために勉強あるのみです。

また将来、社会科教師になるという目標に向けて、学校インターンシップに参加する予定です。私が小学校5~6年生の時に受けた社会科の授業が大変分かりやすく面白く、大好きになったことがきっかけで、人を手助けできるような先生になりたいと思いました。



経済学部1年次生

さだかね まさや
定金 雅哉 さん

夏休みの予定

- 認定試験合格のための勉強
- インターンシップ



春学期試験が終わると待望の夏休み。学生の皆さんは、約1カ月半の長い休みをどう過ごすか、とても楽しみにしていることでしょう。

今回の特集では、夏休みを有意義に過ごすために、皆さんがどのような計画を立てているかを聞いてみました。アンケートの結果、定番の「旅行」や「趣味」の他、「インターンシップ」「留学」といったキャリア形成につながる活動に挑戦する学生が多くいることが分かりました。充実した夏休みを過ごすヒントを探してみてください。

アンケート期間: 2023年4月27日~5月15日 対象者: 学生 回答者数: 163人

トルコに魅せられて...



小学生の頃、父からプレゼントされた「トルコ」が舞台の小説を読んだことがきっかけで、トルコに興味を持ちました。

小説を読んだ翌年には、トルコ料理を習いに行きました。大学生になった今でも、トルコのエキゾチックな雰囲気や礼拝堂(モスク)内の光の差し入り方とタイル一つにも意味があることなど、興味は尽きません。卒業論文も「オスマン帝国の歴史」をテーマに書き上げるつもりです。



ナザールボンジュウというトルコのお守り。邪視をはねのけ災いから守ってくれる。

そのため今年の夏休みは、卒業論文の作成に向けて多くの文献を読み、専門知識を深めていながらインターンシップにも積極的に参加したいと思います。これまでトルコに行くチャンスがなかったため、いつかトルコに行く日を夢見て語学学習を継続して行い、しっかりと自分のものにしたいと思っています。



文学部3年次生

まえだ せり
前田 瀬里 さん

夏休みの予定

- 卒業論文作成に向けて専門分野の文献を読む
- トルコ語学習
- インターンシップ

留学経験を生かす夏休み

昨年は1年間休学してバンクーバー(カナダ)へ留学に行きました。写真のようにホストファミリーの皆さんに恵まれて、とても楽しく過ごすことができました。

今年の夏休みは、留学先で出会ったホストファミリーや友人に、もう一度会いに行く予定です。また、英語での卒業論文の作成にも取り組みたいと思います。旅行を通して、さまざまな人と出会い、新しい文化に触れることで、より一層視野を広げて自分の選択肢を増やしていくつもりです。

大学1~2年次生の頃はチャリーディングサークルの練習、アルバイト、そして旅行などであっという間に夏休みが終わってしまった印象があります。学生生活最後の今年こそ、しっかりと目標を立て、一日一日を大切に過ごそうと考えています。長期間の夏休みなので自発的に行動して、少しでも内容の濃い、意味のある時間にしたいです。



前列中央が池野さん。



文学部4年次生

いけの ゆり
池野 友理 さん

夏休みの予定

- 国内・海外旅行
- 卒業論文の執筆



熱中症に気を付けよう!

地球温暖化に伴って、近年ニュースなどでよく見聞きするようになった熱中症。「自分は大丈夫」と思っていないか?いつでもどこでも誰でも、条件次第で熱中症にかかる危険性があります。

今月号の誌上教室では熱中症に関する皆さんの経験や考えを取り上げ、熱中症予防に役立つ情報をお届けします。これからやって来る暑い季節も元気で安全に過ごしましょう!

アンケート期間: 2023年5月2日~5月13日
対象者: 学生
回答者数: 305人

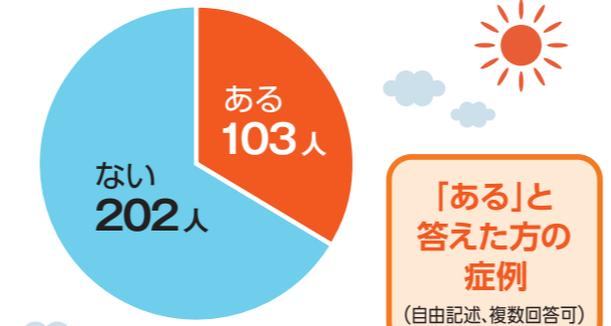


熱中症とは

熱中症とは、高温や多湿などの環境により体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温の調節機能が働かなくなったりして、体温の上昇やめまい、けいれん、頭痛などさまざまな症状を起こす病気のことです。

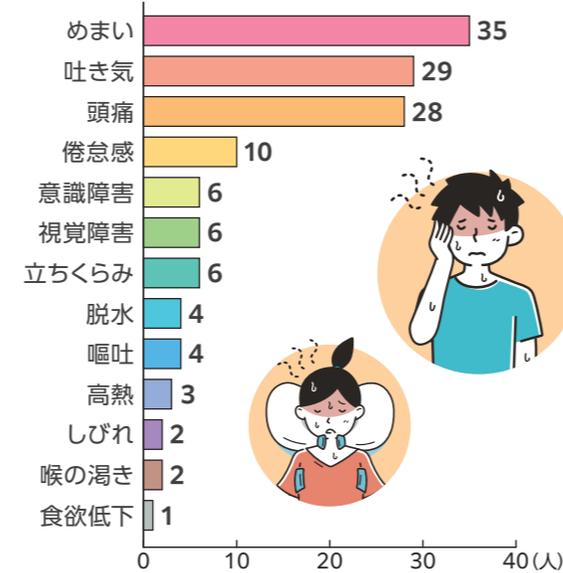
(公益社団法人全日本病院協会「みんなの医療ガイド」<https://www.ajha.or.jp/guide/23.html> より引用し一部を編集)

Q① 熱中症になったことはありますか?



「ある」と答えた方の症例

(自由記述、複数回答可)

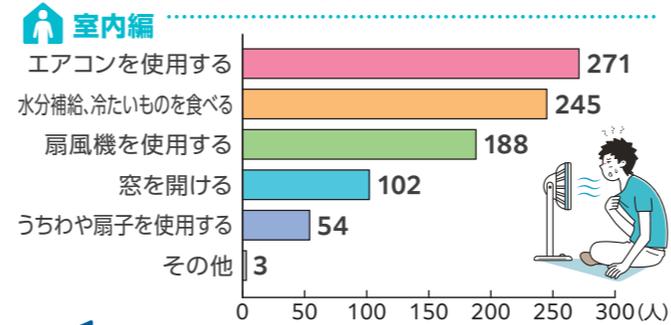
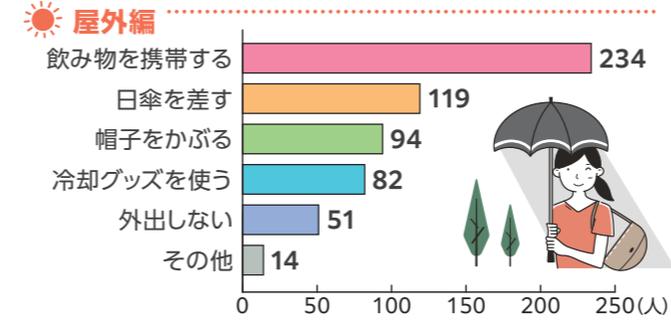


コメント

アンケート回答者のうち約3分の1の方が熱中症になったことがあるという結果でした。めまい、吐き気、頭痛が代表的な症例ですが、複数の症状が同時に現れたケースも。「目の前が真っ白になった」「視野が狭くなった」「目が回るような感覚に襲われた」など、視覚に関わる経験談も寄せられました。

Q② どんな熱中症対策をしていますか?

(複数回答可)



コメント

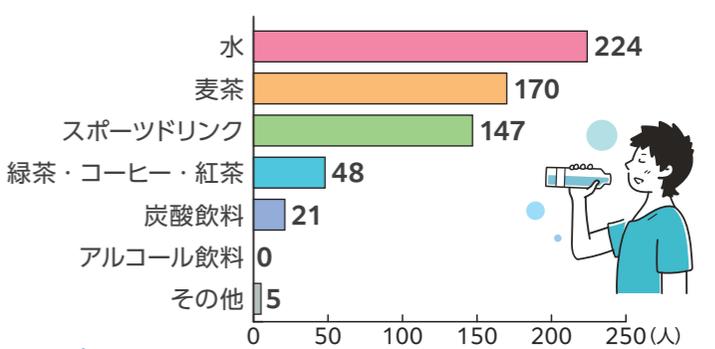
熱中症の経験の有無にかかわらず、何らかの対策をしている方が多いことがうかがえます。「その他」としてはハンディファンを持ち歩く、飴やタブレットで塩分補給を行う、暑熱順化(暑さに身体を慣れさせる)のためサウナを活用する、などの回答が寄せられました。

暑さを避けるには、**エアコンや扇風機での室温・湿度調節、カーテンなどで直射日光を遮る、帽子や日傘を利用し、なるべく日陰で過ごす、保冷剤、氷、冷たいタオルなどで体を冷やす**など、時間や環境に応じて対策を講じると良いでしょう。

(厚生労働省「熱中症予防のための情報・資料サイト」https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/index.html、環境省「熱中症予防情報サイト」<https://www.wbgt.env.go.jp/heatillness.php>、一般財団法人日本気象協会「熱中症ゼロ」<https://www.netsuzero.jp/#learning>を参照)

Q③ 水分補給に利用する飲み物は?

(複数回答可)



コメント

喉の渇きを感じる前に水分補給をすることが大切です。大量に汗をかいたときは、塩分・糖分の入ったスポーツドリンクや経口補水液、食塩水などが良いとされています(ただし糖分の取りすぎには注意)。コーヒーや緑茶など、カフェインが多く含まれている飲み物やアルコール類は、利尿作用があるので水分補給にはあまり適しません。

Recipe 手作りスポーツドリンク

pokkasapporo
ウェブサイトより一部編集

材料

- 水 1リットル
- レモン汁 大さじ1
- 砂糖(またははちみつ) 大さじ4
- 塩 小さじ1/2

作り方

- 少量のお湯(分量外)に砂糖(またははちみつ)と塩を溶かす。
- 水に①とレモン汁を加えてよく混ぜ合わせて出来上がり!

※はちみつは1歳未満の乳児には与えないでください。
(<https://www.pokkasapporo-fb.jp/recipes/detail-960.html>)

その他のアドバイス

上・左記に加えて、暑さに備えた体づくりも大切です。日頃から適切な食事、十分な睡眠を取りましょう。睡眠不足や下痢などの体調不良も熱中症を引き起こす要因となることがあります。ウォーキングやランニングなど適度な運動(毎日30分程度)で汗をかく習慣を身に付けることも予防策の一つです。

お役立ち情報

環境省のLINE公式アカウント「熱中症警戒アラート・暑さ指数」で都道府県と暑さ指数を設定すると、情報を受信することができます。

友だち登録はこちら →



PROFESSOR'S COMMENTS

人間健康学部 灘英世教授

熱中症についての知識の普及は進んでいますが、十分に理解されているとは言えないと思っています。アンケート結果を見て、熱中症対策は十分にできていると感じますが、約1/3の学生が熱中症になったことがあると回答しています。

熱中症による救急搬送状況では過去2年間の統計の結

果、8月より7月のほうが搬送数が多いとの報告もあり、熱中症対策としては、「飲み物を携帯する」「日傘を差す」「帽子をかぶる」などは大切な行動ですが、まずは暑さに備えた体作りをすることが重要です。予防対策の記述で「暑熱順化」という意見もありました。暑熱順化とは、体が次第に暑さに慣れて、暑さに強くなることで、暑熱環境での体温上昇や心拍数上昇などの生理的ストレスを軽減でき、また循環血液量が

増加し、汗のかき始めも早くなります。そのため、より効果的な体温調節ができるようになり、熱中症の危険性も少なくなります。暑熱順化は日頃から運動(ウォーキングなど)で汗をかく習慣を身に付けてください。順化には2週間程度かかると言われています。運動が苦手な学生はサウナを活用するという意見もありましたが、運動とサウナ(入浴)を併用するのも良いでしょう。「熱中症ゼロを目指しましょう!!」

次回のテーマは…「関大生の自転車事情」

最近、自転車で通学をしている学生が増えていますが、どの程度の学生が自転車で大学に通っているのでしょうか。10月号では、①ヘルメットの着用状況など関大生の自転車事情を調査し、②遵守すべき交通ルールやマナーを紹介します。



スポーツ用品メーカー／営業事務

デサントジャパン株式会社 つじ なか み なみ 辻中 美波さん

大阪市立東高等学校（現 大阪府立東高等学校）出身
2019年経済学部卒業

チアリーディングで鍛えた先読み力でお客さまと仲間をサポートします

デサントジャパン株式会社に勤務する辻中美波さんは、スポーツ用品販売店やスポーツチームの代理店を主な対象として、BtoBでの営業事務に従事しています。注文を受けて商品を手配するなどの処理や、顧客からの問い合わせにも対応する業務です。

小学生の頃からスポーツ観戦が好きだったという辻中さん。「すべての人々に、スポーツを遊ぶ楽しさを」という企業理念に引かれ、デサントジャパンへの就職を決めました。

入社して1年ほどは、データ入力や問い合わせ対応など、基本的な業務を経験。業務に慣れるにつれて、前年の在庫状況や販売データを基に営業担当や販売店へ提案するなど、一歩進んだサポートができるようになったそうです。「付き合いの長い取引先の方とは、一つ一つの行動を積み重ねることで信頼関係を築いていきました」と辻中さん。求められているものを主体的に探し出して提供することに確かな手応えを感じたようです。

学生時代は、関西大学応援団バトン・チアリーダー部HELIOSに所属。毎日の練習に加え、体育会の試合や大学の行事などで1年間で約200ものパフォーマンスを披露するという、クラブ漬けの生活でした。3年次には応援の構成を考える役割を任せられ、試合の流れを先読みしながら、音楽や応援内容の順番を臨機応変に切り替える必要がありました。「この経験から、先を読み行動する力が養われました。質の高いサポートとは『お客さまを応援したい』という気持ちで向き合うこと。学生時代に学んだことが今の業務につながっています」と語ります。

これからは業務の効率化や改善を積極的に提案し、これまでに経験したことのない営業やマーケティング部門にも挑戦したいと意気込みを見せます。最後に「社会に出て、自分らしく活躍している人たちに共通するのは、自分の強みをアピールできるところまでしっかり磨いているところです。大学での学びや研究、あるいは部活動、趣味、友人の多さなど、何でも構いません。学生の今こそ、あなたの強みを発見して磨き上げてください」とエールを送りました。

ある1日のスケジュール

- 9:00 出勤・メール確認
- 9:30 欠品リストと在庫チェック
- 10:00 問い合わせ対応
出荷作業
- 12:00 休憩
- 13:00 ミーティング
- 13:30 問い合わせ対応
出荷作業
- 16:00 受注生産商品のとりまとめ
生産部署へ報告
- 17:30 退社



必須アイテムは、ノートPCと、社用スマートフォン、電卓です。



Sales office work

VIVA!!

学び易



システム理工学部 機械工学科

「特別研究1,2」

まえ やす し
前 泰志 教授

最先端の技術を生かしながら、人と機械の調和を目指す

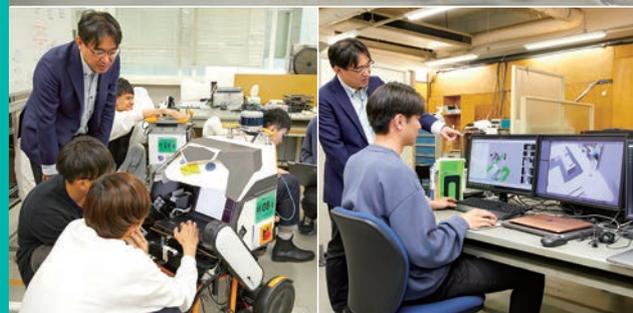
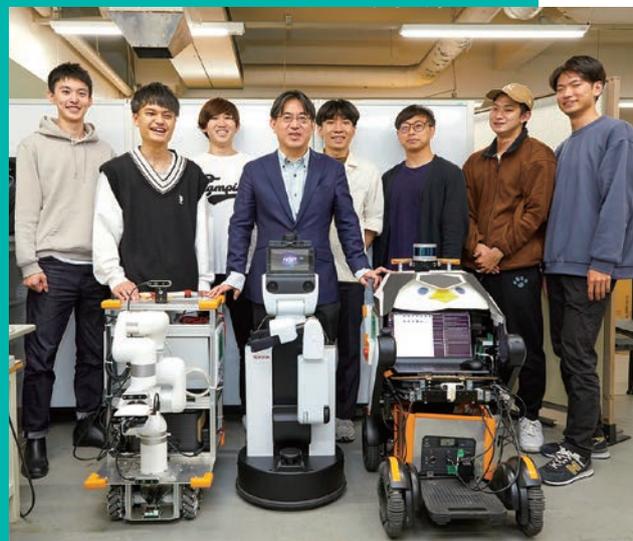
課題を自分で発見し主体的に解決できる力を身に付ける

前泰志教授の計測システム研究室では、カメラなどの機器からセンシング（必要な情報を計測し数値化すること）して得たデータをリアルタイムで情報処理するAIのプログラムなど、ロボットを知能化する技術を研究しています。

研究室では、まずプログラムを動かすのに必要なパソコンの使い方とプログラム言語の基礎知識を学びます。その後カメラから得た視覚情報やLiDAR（光センサー）からセンシングしたデータを処理するプログラムを作成し、実際にロボットを動かして、実践を通して学びを深めます。「自ら考えたプログラム通りにロボットが動くと、理屈抜きにワクワクした楽しい気持ちになります」と前教授。その楽しさがやがて、社会で役立つシステムの研究へとつながっていくと話します。

授業では、今までにない技術の活用方法や社会に役立つテーマを、学生とディスカッションしながら一緒に見つけます。例えば、『AIが缶とペットボトルを認識してロボットアームで分別する研究』からは、将来、離れた場所から必要な物を見つけて運ぶロボットの開発につながる可能性があり、『オンライン会議の画像から顔色、心拍数、疲労度を測定する研究』では、人々の過労を予防し、作業効率がアップするようにサポートすることができ、また通院することなく簡易診察などができるAIに応用されるかもしれません。

AIなど技術の進歩が目覚ましい今、人と機械が調和できる社会を目指して未来に向けた研究ができるよう常にアンテナを張り、新しい情報を獲得することが大事だと学生に伝えています。最後に「研究を通して社会に必要なことを発見し、主体的に解決できる普遍的な力を身に付けてほしい。課題を自分で見つけて解決することは、面白くかつ困難な道です。ベストを尽くすために諦めずに取り組める人、ぜひ共に挑戦しましょう」と締めくくりました。

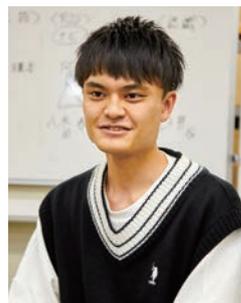


えのもとこうき
榎本紘希さん(理工学研究科M1年次生)



人の体温や心拍の計測、感覚の数値化など“測る”ことに興味があり、この研究室を選びました。現在、カメラ画像から皮膚の色変化を読み取り心拍数を測るプログラムを研究しています。前先生はもちろん、研究室の仲間たちから親身なアドバイスをもらえることも、この研究室の魅力です。将来は医療機器を扱う会社で、研究開発に携わりたいと考えています。

なかやまりょうま
中山諒真さん(理工学研究科M2年次生)



距離を計測できるステレオカメラを用いたロボットアームのプログラムとロボット製作について研究しています。元々は手を動かすものづくりが得意で、プログラムのように形のないものは苦手でしたが、この研究室に入りさまざまなことにチャレンジしています。今は、ハードとソフトそれぞれに課題があり、その両方と向き合えることにやりがいを感じています。将来はエンジニアを目指しています。

木漏れ日、爽やかな風、緑に囲まれたセミナーハウス

関西大学は、教職員、学生の研究・研修の他、ゼミ旅行・合宿などで利用できるセミナーハウスを全国に5カ所設けています。施設はどれも自然環境に恵まれた場所にあり、教室とは違った雰囲気での勉強は集中力を高め、教育・研究がより一層はかどることでしょう。施設によっては卒業生や学生の父母、保護者も利用することが可能です。皆さんも一度訪れてみませんか。



▲現在の飛鳥文化研究所・植田記念館

日本古代史の宝庫、明日香にある 飛鳥文化研究所・植田記念館

飛鳥文化研究所・植田記念館建設のきっかけとなったのは、1972年3月に極彩色の壁画発見で一躍有名となった高松塚古墳です。本学は同古墳をはじめとするあまたの発掘調査で実績を上げていましたので、当時の教育後援会会長の植田正路氏が、明日香村で古代史の研究と教育ができる場を提供すべく、多額の寄付をされ、1975年4月に竣工しました。

開館時から教職員、学生共に好評で、初年度には約2,300人の利用があり、その後も年々利用者が増えたことから1987年に新館を建設。最盛期には年間利用者数が5,000人以上にも上りました。

古都・明日香のたたずまいにマッチする風格を有していることもあり、1991年には「第4回奈良県景観調和デザイン賞」を受賞しています。

根強い人気の飛鳥史学文学講座

飛鳥文化研究所の開設と時を同じくして、飛鳥史学文学講座が始まりました。飛鳥の歴史や文学に深い関心をもつ人々を対象に、飛鳥文化研究所と明日香村の共催で毎月1回開催しています。

講座開講当初は古代史ブームを反映して、受講希望者は定員200名を大幅に上回る500名に達し、全国各地からの参加がありました。開講以来、約半世紀の間に延べ11万名を超える受講があり、現在も本学の教員ならびに本学出身の研究者を中心とした講師陣を迎えて多彩な内容で開催しています。



▲大勢の人が詰めかけた飛鳥史学文学講座

＜ 夏休みに訪れたいセミナーハウス ＞

飛鳥文化研究所以外のセミナーハウスを紹介しましょう。高槻キャンパス内の「高岳館」は体育施設に隣接し、スポーツ合宿に最適です。夏休みには多くの体育会クラブが利用しています。長野県小谷村に位置する「白馬梅池高原ロッジ」は夏には高山植物の観賞、冬にはスキーやスノーボードを楽しむことができます。六甲山の自然豊かな山腹にある「六甲山荘」は夜景を一望できるだけでなく四季折々の行楽を楽しめます。また琵琶湖畔にある「彦根荘」は彦根城をはじめとする文化財が周辺地域にあります。

このようにセミナーハウスにはそれぞれの特徴がありますので、用途に

よって楽しむことができるでしょう。利用料金(施設利用料、食事代)は周辺の宿泊施設と比べても格安で、学生だとさらに安価で利用できるよう料金設定されています。

利用にあたっては、千里山キャンパスは教育後援会(課外活動団体は学生センター経由)で、また高槻キャンパス、高槻ミュージックキャンパス、堺キャンパスは各キャンパス事務室(学生窓口)で予約ができます。

(各セミナーハウスの詳細はこちら▶)





文学部 2年次生

眞壁 知義さん

オーケストラでは耳を澄まして役割を意識
コンサートの運営など「関大オケ」ならではの得難い経験も

眞壁知義さんは、関西大学交響楽団(別名「関大オケ」)でバイオリンパートを担当しています。バイオリンを始めたのは3歳の頃。中学校と高校ではサッカー部に入っていました。バイオリンでゲームの曲を弾くと友人に喜んでもらえたこと、練習を重ねると思い通りに弾けるようになったことから、本気でバイオリンに取り組みたいという思いが強くなり、大学に入学してすぐ関大オケに入団しました。

「ずっと自分の音を追求することを考えていましたが、関大オケに入ってからからは他のパートの音にも耳を傾け、全体の中での役割を意識するようになりました」と話します。現在は、幹部としてクラブのイベントを取りまとめる役割も担っています。特に6月と12月の定期演奏会は学外のホールで開催し、外部指揮者の指導による本格的なもので、責任は重大です。「コンサートを運営するには、ホールの手配、多額の資金管理、練習日程の作成、楽器店などとの渉外活動など、多くの仕事があります。社会人としてのマナーも身に付きますし、学生には得難い経験ができています」と、関大オケでの面白さを語ります。

眞壁さんは文学部の初等教育学専修に所属し、将来は小学校教諭を目指しています。小学6年生のときに国際協力に取り組む授業があり、「担任の先生は何事も主体的に考えるようにと、活動を自分たちでまとめた本を出版してくださいました。その先生のように、子どもたちにいろいろな体験やチャレンジができる環境をつくってあげたい」と言います。将来は、社会もしくは国語の教員を希望しており、小学校教員採用試験で必須となるピアノ練習にも取り組みながら夢の実現へ向けて着実に歩んでいる様子が見えがえます。

最後に、「大学生活ではやりたいことが何でもできます。そのことに気が付いてから、今やりたいこと全部にチャレンジしています」と眞壁さん。快活に話す姿に、子どもたちに囲まれる未来が浮かんで見えました。



成功を収めたサマーコンサート

次回は、眞壁さんからのご紹介で山口貴弘さん(商学部4年次生)が登場。お楽しみに!



Tomoyoshi Makabe

2022年度 学校法人関西大学 決算の概要

1 決算の概要

2022年度決算は、常任理事会の審議を経て、理事会(2023年5月11日)において議決・承認され、評議員会(2023年5月25日)に報告いたしました。

2022年度は、本学が大学として昇格してから、100年の節目を迎えた年でした。昇格記念日である6月5日には、学園を挙げて盛大に佳節を祝い、本学が大学として出発したことの意義を改めて深く尋ねる機会となりました。さらに、千里山学舎の開設、「学歌」の制定、関西大学の教育理念である学是「学の実化」の提唱から100年を迎えたことを記念し、多彩な事業を実施しました。

また、時代に即した教育・研究内容の充実とともに、大学としての使命を果たすため、全学的なDXの推進やSDGsに関する活動など、各種取り組みを展開しています。さらには、職務遂行の適正確保および社会的信頼の維持を継続して図るため、全ての構成員の行動規範を示し、これを遵守実践するべく、「関西大学コンプライアンス基本方針」を制定したほか、カーボンニュートラルと脱炭素社会の実現を目指して積極的に取り組みを展開するため、その指標となる「Roadmap to Carbon Neutrality by 2050」を策定しました。

国による新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけも変更され、ようやく日常を取り戻しつつある中において、今後とも、オール関大で教育研究環境の質的向上と財政基盤の確立に取り組んでまいります。

2 事業の概要

2022年度に実施した事業のうち主なものは、次のとおりです。

(1) 大学昇格100年記念事業

ア 記念式典・シンポジウムの開催

昇格記念日の6月5日に、千里山キャンパス・BIGホール100にて記念式典を挙行し、オンライン視聴者を含め来賓・大学関係者ら約900人が佳節を祝いました。



【記念式典】

式典後のシンポジウム「大大阪の誕生と旧制関西大学の出発—山岡順太郎と学の実化—」では、橋爪紳也大阪公立大学研究推進機構特別教授による基調講演の後、パネルディスカッションを行いました。

イ 第2学舎1号館前広場整備工事の実施

第2学舎1号館前広場を整備し、6月5日に披露式を挙行しました。100年前に学是「学の実化」を提唱した山岡順太郎総理事の銅像と、大学昇格100年の歩みを辿ったモニュメント群、休憩用のベンチを設置し、「憩い」の場と「100年の歩みにふれる」空間を創出し、キャンパスアメニティ向上に寄与するものとなりました。



【披露式】

ウ 「学の実化 大学昇格・千里山学舎開設100年記念誌」の発行

年史編集室が所蔵する資料や、山岡家から借用した2,000点を超える新出資料を使用し、1920年ごろから1936年ごろまでの大学昇格期に焦点を当てた記念誌を発行しました。

エ 記念展示会「真理の討究 学の実化」の開催

4月1日から6月30日まで、博物館特別展示室において記念展示会を開催し、会期中には、5,281人の来場者がありました。展示会では、大学昇格に向けた本学の取り組み、その陣頭指揮を執った山岡順太郎総理事の事績、千里山学舎の開設、学歌の制定、当時の学生生活など、昇格期の本学のあゆみを紹介しました。



【展示風景】

オ 「学の実化講座」の実施

「学理と実際との調和」という理念を現代社会に問う公開講座を、第一線で活躍されている國部毅氏(三井住友フィナンシャルグループ取締役会長)、江連裕子氏(経済キャスター)、山川景子氏(イヴレス株式会社代表取締役/CEO)、玉岡かおる氏(作家)、大坪文雄氏(パナソニックホールディングス株式会社特別顧問)をそれぞれ講師にお迎えして開催しました。

カ 「山岡塾」の創設

次世代を担う経済人・起業家などの育成を目的に、大学昇格100年を機に創設した山岡塾は、本学の学生や卒業生、併設高等学校の生徒を対象に塾生を募集し、31名の第1期生を迎え入れました。

塾生は、4~6名でチームを組み(計6チーム)、各チームは社会的課題の解決に向け、活動資金、教職員や校友などからの助言、コーディネーターによるサポートを受けながら、実践的活動に取り組みました。3月に開催した最終報告会では、各チームが活動成果を発表し、塾長や役員などがさまざまな視点で講評を行いました。2023年度以降も、新たな塾生を募集し活動を行います。



【最終報告会】

(2) 教育研究活動

ア 全学的なDXの推進

(ア) 講義収録・配信システム「Panopto」との連携による関大LMSの機能強化

2021年度に導入した「Panopto」により、関大LMSと連携した講義動画の配信と視聴管理が可能になりました。2022年度からは「Panopto」の本格運用が始まり、データ分析が可能な視聴ログが蓄積されました。ポストコロナ時代において、授業の受講スタイルが多様化する中、オンデマンド配信授業のエビデンスに基づく一層の改善が期待されます。

(イ) 異文化理解のための共修環境の整備

デジタル技術を活用し、空間的・時間的隔たりを超えたインタラクティブな学習機会と共修空間を提供するためのGlobal Smart Classroomについて、各キャンパスへの整備を2022年度に完了しました。2022年度は学生交流イベントを実施したほか、秋学期からはグローバル科目群のうち一部の科目で試験的に活用を開始しました。

また、国内外の学生に加えて大阪府内の高校生を対象に、複数のキャンパスにいなからひとつのオンラインスペースに集まり、多様な国籍、価値観、文化が融合したグループで課題に取り組むJ-MCP (Japan Multilateral COIL/VE Project)を開講しました。

イ 学部における教育改革の推進

経済学部では、専門科目を学ぶ際に必要なデータ分析に関するさまざまな知識・技術を身に付けることを目的として、2年次生が全員履修する「経済学ワークショップII」の授業を原則BYODで開講しました。また、経済学特別演習(PCスキル入門)を開講するとともに、就職活動中でも計画的に指導できるよう、5つの4年次春学期ゼミがリアルタイム配信を実施しました。

人間健康学部では、「人間関係学プログラム」、「ユーモア学プログラム」、「地域デザイン学プログラム」から構成される「人間健康学プログラム群」がスタートし、興味・関心のあるプログラムを副専攻とし

て履修することができるようになりました。

システム理工学部では、電気電子情報工学科の「データサイエンス育成プログラム」において、企業から提供されたビッグデータやウェアラブルデバイスで取得した生体データなどを用いた実践的なデータサイエンス実習を行いました。また、機械工学科では、2022年度から「機械工学データサイエンス教育プログラム」を開始しました。

ウ SDGsの推進および2025大阪・関西万博への協力

学長を座長とする「SDGs推進プロジェクト」を軸とし、各種SDGsの推進活動に取り組みました。共通教養科目として開講した「SDGs入門」、「SDGsの実践」の履修者は1,300名にのぼり、学生有志による「関西大学SDGsキャンパスサポーター」も学内外で活躍するなど、学生の意識・機運が高まっています。

また、本学のSDGsへの取り組みに賛同する自治体・企業・団体などとの協力のもと、社会課題の解決に向けた多彩なプログラムを展開する「関西大学SDGsパートナー制度」も軌道に乗り、2023年3月末時点で55団体の登録がありました。

2年後に迫った「2025年大阪・関西万博」は、SDGs万博ともいわれます。本学はTEAM EXPO 2025プログラム 共創パートナーとして参画するとともに、大阪ヘルスケアパビリオン展示・出展ゾーンのリボンチャレンジ実施主体として認定されるなど、取り組みを加速させています。

エアントレプレナーシップ醸成プログラムの新展開と大学発ベンチャー創出支援の推進

イノベーション創生センターでは、学生向けプログラムとして「イノバイターストック」や「企業見学会」、「ビジネスアイデアコンテスト『SFInX』」などを継続して実施するとともに、共通教養科目「起業に学ぶ『考動力』入門」の運営にも関わりました。さらに「アントレプレナーシップ醸成施策の推進と起業家創出・支援に向けたビジョン策定及び充実策について」の学長諮問を受け、検討プロジェクトを立ち上げ、答申を提出しました。本答申を受け、今後、学園総体としてアントレプレナーシップ醸成施策を実施していくこととなります。

また、大学発ベンチャー創出支援について「関西大学GAPプログラム(KUGAP)」の創設や「ものづくり支援・共創窓口」の設置など新たな取り組みを開始しました。



【イノバイターストック】

オ カーボンニュートラル研究センターの設立

カーボンニュートラル研究センターは、カーボンニュートラル社会の実現への貢献および関連研究についての情報発信の強化を目的に、10月に社会連携部内に設立されました。

本センターは理工系の教員のみならず、社会科学・人文科学系の教員も配置し、文理融合の研究体制を構築しています。国内外の研究機関・企業などとも連携しながら、カーボンニュートラルに係る「学外機関との共同研究プロジェクトの推進」、「学術研究成果の普及」、「各種情報の収集と学内外への発信」などを通じて、カーボンニュートラル達成に貢献していきます。

カ キャリア形成・就職支援事業

コロナ禍3年目となった2022年度において、採用選考はオンラインと対面の併用から段階的に対面での採用選考の割合を増やす動きが出てきました。このような中、本学で実施する業界・企業研究セミナーや個別企業説明会、就活なんでもライブ相談会、就活リストート講座は、オンラインと対面を内容に応じ併用して行いました。最終的な就職率は、前年比0.2ポイント増の98.5%となりました。

また、3年次生に対してはオンラインと対面を併用し、就職ガイダンス、就活スキルアップセミナー(少人数制)、各種対策講座、OB・OG懇談会などを開催したほか、オンラインの業界研究セミナーに加え、3年ぶりに対面形式の合同業界研究セミナーを実施しました。

さらに、「関西大学DX推進計画」の一環として「キャリア支援専用ポートフォリオ」を導入し、その中に蓄積された情報の分析結果を基に、学生の目標や目的に応じた支援を展開しています。

3 収支計算書

学校法人は、文部科学省令の「学校法人会計基準」に基づき、財務計算に関する以下の計算書などを作成することになっています。

「資金収支計算書」は、学校法人の当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入・支出の内容を明らかにし、かつ、支払資金の収入・支出のてん末を明らかにするものです。資金の動きのすべてが計算書の対象となります。

「事業活動収支計算書」は、学校法人の諸活動に伴う収支を経常的な収支と臨時的な収支に区分し、それぞれの収支の均衡状況とその内容を明らかにすることによって、学校法人の経営状況が健全に維持されているかどうかを示すものです。

「貸借対照表」は、学校法人の一定時点(決算日)における資産、負債、純資産の財政状態を示すものです。

「財産目録」は、「貸借対照表」を基準にして組み替えて作成したものです。

「監査報告書」には、私立学校法第37条第3項第4号に基づく監事による「監事監査報告書」および私立学校振興助成法第14条第3項に基づく監査法人による「独立監査人の監査報告書」があります。

ここでは誌面の都合上、計算書類の総括表のみ掲載しております。「関西大学ウェブサイト」に財産目録などの詳細な財務情報を掲載しておりますので、ご覧ください。【www.kansai-u.ac.jp/zaimu/】

4 収支決算の概要

(1) 資金収支決算

2022年度資金収支決算は、12ページに掲載の「資金収支計算書(総括)」のとおりです。

資金収入は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入、前受金収入などを含め、540億5,747万2,353円となりました。

資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動および管理運営に必要な諸経費、施設設備費のほか、借入金返済などの支出を含め、544億8,572万5,177円となりました。この結果、4億2,825万2,824円の支出超過となり、これに前年度繰越支払資金147億8,099万3,886円を合わせた結果、翌年度繰越支払資金は、143億5,274万1,062円となりました。

(2) 事業活動収支決算

2022年度事業活動収支決算は、12ページに掲載の「事業活動収支計算書(総括)」のとおりです。

経常的な収支のうち、教育および研究活動の収支状況を表す教育活動収支では、学生生徒等納付金、手数料、経常費等補助金などの教育活動収入から、教職員の人件費や教育研究経費などの教育活動支出を差し引いた教育活動収支差額は、21億3,089万169円の収入超過となり、予算に対し8億5,229万1,169円の増となりました。また、主に財務活動の収支状況を表す教育活動外収支差額は、6億7,443万2,152円の収入超過となりました。この結果、経常収支差額は28億532万2,321円の収入超過となり、予算に対し11億4,002万8,321円の増となりました。これに資産の売却や処分などにかかる臨時的な収支を表す特別収支差額3億7,383万238円の収入超過を加えた基本金組入前当年度収支差額は、31億7,915万2,559円の収入超過となり、予算に対し20億1,666万9,559円増加しました。

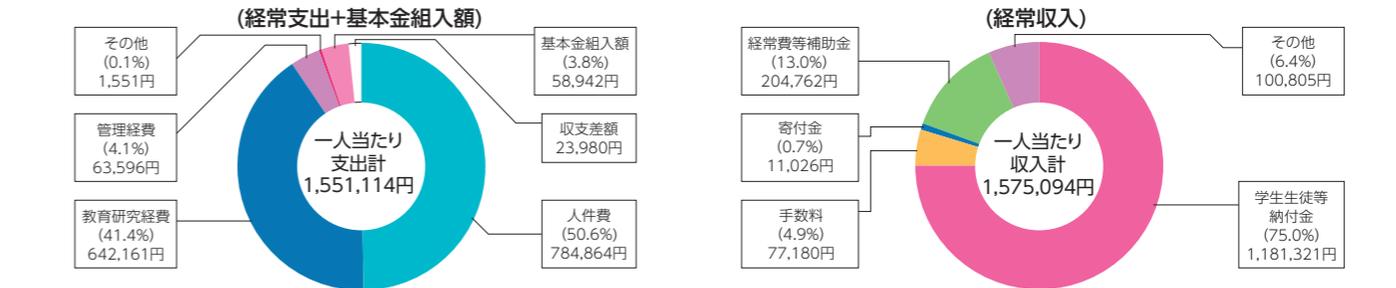
一方、施設設備あるいは将来の施設取得に係る積立金や基金などに充当する基本金組入額は20億270万5,206円となり、予算に対し3億5,339万8,206円増加しました。

事業活動収支の均衡状況を表す当年度収支差額は、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を差し引いた11億7,644万7,353円の収入超過となり、予算に対し16億6,327万1,353円改善しました。この結果、当年度収支差額に前年度繰越収支差額および基本金取崩額を合わせた翌年度繰越収支差額は、214億8,373万9,871円の支出超過となりました。

(3) 貸借対照表

2022年度末(2023年3月31日)現在の資産、負債、純資産の財政状態を示しています。

2022年度 事業活動収支決算における「学生生徒等一人当たりの経常的な支出とこれを賄う収入」



(注) 1 事業活動収支決算における経常的な支出(教育活動支出、教育活動外支出、基本金組入額)及び収入(教育活動収入、教育活動外収入)の決算額を、科目ごとにそれぞれ学生数33,620人(大学院・学部・留学生別科・高校・中学校・小学校・幼稚園の学費納入者合計)で除して、学生生徒等一人当たりの平均値を示したものである。
2 「基本金組入額」とは、校地、校舎、機器備品、図書などの取得、あるいは、そのための過年度借入金の返済、又は将来取得のための積立金などとして資本的支出に充てる額である。

資金収支計算書(総括) 2022年4月1日から2023年3月31日まで (単位 円)

科目	支出の部			差異	科目	収入の部		
	予算	決算	差異			予算	決算	差異
1 人件費支出	26,585,178,000	26,531,442,182	53,735,818	1 学生生徒等納付金収入	39,512,219,000	39,701,360,749	△ 189,141,749	
2 教育研究経費支出	16,365,672,000	16,131,393,116	234,278,884	2 手数料収入	2,633,975,000	2,596,170,344	37,804,656	
3 管理経費支出	1,817,057,000	1,920,628,861	△ 103,571,861	3 寄付金収入	320,000,000	387,585,931	△ 67,585,931	
4 借入金等利息支出	6,883,000	6,878,135	4,865	4 補助金収入	6,530,103,000	6,952,337,101	△ 422,234,101	
5 借入金等返済支出	1,003,770,000	1,003,770,000	0	5 資産売却収入	500,000	169,550,000	△ 169,050,000	
6 施設関係支出	1,954,919,000	1,527,489,587	427,429,413	6 付随事業・収益事業収入	1,065,200,000	1,183,599,885	△ 118,399,885	
7 設備関係支出	2,142,386,000	2,143,479,865	△ 1,093,865	7 受取利息・配当金収入	393,578,000	548,089,501	△ 154,511,501	
8 資産運用支出	2,391,934,000	4,995,562,437	△ 2,603,628,437	8 雑収入	1,472,915,000	1,657,213,804	△ 184,298,804	
9 その他の支出	2,613,337,000	2,557,791,968	55,545,032	9 借入金等収入	400,000,000	400,000,000	0	
10 予備費	600,000,000	—	600,000,000	10 前受金収入	6,940,528,000	7,169,898,413	△ 229,370,413	
11 資金支出調整勘定(小計)	△ 2,370,895,000	△ 2,332,710,974	△ 38,184,026	11 その他の収入	2,239,310,000	1,818,946,348	420,363,652	
12 資金収入調整勘定(小計)	(53,110,241,000)	54,485,725,177	△ 1,375,484,177	12 資金収入調整勘定(小計)	△ 8,437,495,000	△ 8,527,279,723	89,784,723	
12 翌年度繰越支払資金	14,741,586,000	14,352,741,062	388,844,938	13 前年度繰越支払資金	(53,070,833,000)	54,057,472,353	△ 986,639,353	
支出の部合計	67,851,827,000	68,838,466,239	△ 986,639,239	収入の部合計	67,851,827,000	68,838,466,239	△ 986,639,239	

(注) 予算の流用を含む。

事業活動収支計算書(総括) 2022年4月1日から2023年3月31日まで (単位 円)

科目	支出の部			差異	科目	収入の部		
	予算	決算	差異			予算	決算	差異
1 学生生徒等納付金	39,512,219,000	39,701,360,749	△ 189,141,749	1 資産売却差額	500,000	169,550,000	△ 169,050,000	
2 手数料	2,633,975,000	2,596,170,344	37,804,656	2 その他の特別収入	112,138,000	223,396,570	△ 111,258,570	
3 寄付金	330,000,000	389,996,047	△ 59,996,047	特別収入計	112,638,000	392,946,570	△ 280,308,570	
4 経常費等補助金	6,508,965,000	6,883,399,101	△ 374,434,101	科目	予算	決算	差異	
5 付随事業収入	1,065,200,000	1,183,599,885	△ 118,399,885	1 資産処分差額	15,449,000	10,957,436	4,491,564	
6 雑収入	1,472,915,000	1,518,821,352	△ 45,906,352	2 その他の特別支出	0	8,158,896	△ 8,158,896	
教育活動収入計	51,523,274,000	52,273,347,478	△ 750,073,478	特別支出計	15,449,000	19,116,332	△ 3,667,332	
特別収支差額	—	—	—	特別収支差額	97,189,000	373,830,238	△ 276,641,238	
1 人件費	26,497,458,000	26,389,157,916	108,300,084	予備費	600,000,000	—	600,000,000	
2 教育研究経費	21,715,037,000	21,613,592,570	101,444,430	基本金組入前当年度収支差額	1,162,483,000	3,179,152,559	△ 2,016,669,559	
3 管理経費	2,032,180,000	2,139,294,903	△ 107,114,903	基本金組入額合計	△ 1,649,307,000	△ 2,002,705,206	353,398,206	
4 徴収不能額等	0	411,920	△ 411,920	当年度収支差額	△ 486,824,000	1,176,447,353	△ 1,663,271,353	
教育活動支出計	50,244,675,000	50,142,457,309	102,217,691	前年度繰越収支差額	△ 22,663,784,000	△ 22,663,783,932	△ 68	
教育活動収支差額	1,278,599,000	2,130,890,169	△ 852,291,169	基本金取崩額	0	3,596,708	△ 3,596,708	
科目	予算	決算	差異	翌年度繰越収支差額	△ 23,150,608,000	△ 21,483,739,871	△ 1,666,868,129	
1 受取利息・配当金	393,578,000	548,089,501	△ 154,511,501	特別収支差額	97,189,000	373,830,238	△ 276,641,238	
2 その他の教育活動外収入	0	133,220,786	△ 133,220,786	予備費	600,000,000	—	600,000,000	
教育活動外収入計	393,578,000	681,310,287	△ 287,732,287	基本金組入前当年度収支差額	1,162,483,000	3,179,152,559	△ 2,016,669,559	
科目	予算	決算	差異	基本金組入額合計	△ 1,649,307,000	△ 2,002,705,206	353,398,206	
1 借入金等利息	6,883,000	6,878,135	4,865	当年度収支差額	△ 486,824,000	1,176,447,353	△ 1,663,271,353	
2 その他の教育活動外支出	0	0	0	前年度繰越収支差額	△ 22,663,784,000	△ 22,663,783,932	△ 68	
教育活動外支出計	6,883,000	6,878,135	4,865	基本金取崩額	0	3,596,708	△ 3,596,708	
教育活動外収支差額	386,695,000	674,432,152	△ 287,737,152	翌年度繰越収支差額	△ 23,150,608,000	△ 21,483,739,871	△ 1,666,868,129	
経常収支差額	1,665,294,000	2,805,322,321	△ 1,140,028,321	特別収支差額	97,189,000	373,830,238	△ 276,641,238	

(注) 予算の流用を含む。

貸借対照表 2023年3月31日 (単位 円)

科目	2022年度末	2021年度末	増減	科目	2022年度末	2021年度末	増減
資産の部				純資産の部			
固定資産	215,402,202,453	212,978,949,984	2,423,252,469	基本金	229,422,544,015	227,423,435,517	1,999,108,498
有形固定資産	104,816,239,692	106,669,183,258	△ 1,852,943,566	第1号基本金	205,925,853,271	203,932,162,210	1,993,691,061
特定資産	109,137,267,819	104,584,278,124	4,552,989,695	第3号基本金	20,083,690,744	20,078,273,307	5,417,437
その他の固定資産	1,448,694,942	1,725,488,602	△ 276,793,660	第4号基本金	3,143,000,000	3,413,000,000	△ 270,000,000
流動資産	16,158,482,576	16,498,364,333	△ 339,881,757	繰越収支差額	△ 21,483,739,871	△ 22,663,783,932	1,180,044,061
資産の部 合計	231,560,685,029	229,477,314,317	2,083,370,712	翌年度繰越収支差額	△ 21,483,739,871	△ 22,663,783,932	1,180,044,061
負債の部				純資産の部 合計	207,938,804,144	204,759,651,585	3,179,152,559
固定負債	12,731,731,257	13,399,666,799	△ 667,935,542	負債及び純資産の部 合計	231,560,685,029	229,477,314,317	2,083,370,712
流動負債	10,890,149,628	11,317,995,933	△ 427,846,305				
負債の部 合計	23,621,880,885	24,717,662,732	△ 1,095,781,847				

関大トピックス

ZOZOTOWNとコラボして、カレッジロゴスウェット&Tシャツを販売

このたび本学は、アパレルECサイト「ZOZOTOWN」とコラボレーションして、カレッジロゴスウェット&Tシャツを企画・製作し、限定受注販売を行いました。

本企画は、アメリカでは一般的なカレッジアパレルの日本バージョンを製作するもので、関西の私立大学6校が参加。ブランドは、アメリカの老舗「Russell Athletic」を使用しています。

本学のデザインは、スクールカラーである「紫紺」を基調にした王道のカレッジデザインと、全キャンパスが大阪にあることを強調した「大阪」の文字入りデザインの2種類(各2色)を展開。商品紹介用のルック写真では、関大生4名がモデルを務めています(=写真)。



バスケットボール部が関西学生選手権大会で3位に躍進

4月22日から開催されていた関西学生選手権大会は5月5日に3位決定戦が行われ、バスケットボール部(男子)が見事3位に輝きました。

昨年秋に2部降格という憂き目にあったバスケットボール部。今大会はベスト4を目標に臨み、3回戦で昨秋1部リーグ優勝の近畿大学を破って波に乗ると、準々決勝では同志社大学、3位決定戦では大阪産業大学に勝利するなど、次々と1部校を破る活躍を見せました。

優秀選手に選ばれた佐藤涼真選手
(写真提供：関大スポーツ編集局)



UNIVAS CUP2022-23で本学は過去最高の6位

このたび、UNIVAS CUP2022-23の最終ランキングが発表され、本学は1,494ポイントを獲得し、総合順位6位でフィニッシュしました。

「UNIVAS CUP」は、大学スポーツの総合力を競う取り組みとして2019年にスタート。UNIVAS(大学スポーツ協会)の正会員である32競技団体が開催する大会のうち、全国の大学が参加して日本一を決める大会を「UNIVAS CUP」に指定し、各競技団体に割り振られたポイントを順位に応じて各大学へ付与し、総ポイント獲得数を基に総合順位を決定するものです。

関西大学の獲得ポイントの内訳を見ると、全日本学生テニス選手権(男子シングルス)で関大勢86年ぶりに優勝した松田康希さん(2023年商学部卒業)などが活躍して合計565ポイントを獲得したテニス部や、全日本学生なぎなた選手権(個人の部)で男女共に優勝を果たすなど230ポイントを獲得したなぎなた部がけん引した形となり、過去最高の成績を上げることができました。



UNIVAS CUP2022-23で本学は1,494ポイントを挙げ、過去最高の6位

関大人 四方山話 ◆ 大学の事業会社「関大パンセ」とは? 株式会社関大パンセ社長 重田勝紀



株式会社関大パンセの社長を拝命しております。この場をお借りして、学生の皆さんに関大パンセを紹介します。

関大パンセは、学校法人関西大学100%出資の事業会社で、2012年8月1日創設以来、この7月末で11年経ち、現在60数名の所帯です。関西大学の教育研究の縁の下の力持ちとして日々業務にまい進しています。業務内容は、各キャンパスの清掃校務警備・複写印刷・施設貸与などのインフラ関係、教育研究では国際交流や科研費関係、学生

活では「関西大学共済会」関係、社会・地域連携では梅田キャンパスの会員制サロン「KANDAI Me RISE 倶楽部」受付関係などに携わっています。関大パンセ独自事業では旅行業を営み、また、ECサイト「カンダイパンセマルシェ」を立ち上げ、関西大学公式オリジナルグッズ・土産・記念品などを企画販売しています。関大パンセの社は「チャレンジ」です。皆さんも、さまざまなことにチャレンジし、有意義な学生生活を送ってください。

編集後記

「夏休みにやりたいことは何ですか?」という学生へのアンケート調査の結果、「旅行」が1位となりました。「旅行」は新しい知識や経験を蓄積するチャンスでありながら、生きている学びの場でもあると思います。特に、周りの人々との交流を通じて多くのものを得ることができます。さらに、自分の潜在能力を十分に発揮し、幸福指数を高める貴重な機会になると思います。コロナ禍から抜け出し、日常生活を取り戻した今回の夏休みは、日本のどこか、あるいは海外へ旅立つのはいかがでしょうか。(広報委員・外国語学部教授 高明均)



関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日:2023年7月12日
発行:関西大学広報委員会
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
電話:06-6368-1121(大代表)

感染拡大予防策を講じた上で、取材や制作を行っています。

今月の表紙

今月の表紙は、千里山キャンパスの尚文館の上から真夏の太陽が照り付けている様子です。今年もこの写真のようにギラギラとした太陽が現れる頃には、厳しい暑さとなりますので、くれぐれも熱中症にご注意ください。